

春の選抜高校野球大会 組み合わせ決まる

西岡歯科通信

出場32校の組み合わせ決まる 初出場は6校、最多は高松商の29回目

3月18日(火)開幕される第97回選抜高校野球大会は、2月27日、選考委員会により出場32校が選出され、3月7日(金)、組み合わせが抽選会が行われました。

今回新たに特別選考委員に加わった、テニス女子日本代表監督の杉山愛さんは「高校野球の抱える問題は日本の問題でもあると改めて感じた。スポーツ選手にとって、普段やってきたことが(本番で)出せないことほど悔しいことはない。悔いなく大舞台で力を出し切ってきてほしい」と話した。出場校は次の通り。

- 北海道(1校)
 - ▼東海大札幌 北海道 (10年ぶり7回目)
- 東北地区(3校)
 - ▼聖光学院 福島県 (3年ぶり7回目)
 - ▼青森山田 青森県 (2年連続4回目)
 - ▼花巻東 岩手県 (3年ぶり5回目)
- 関東・東京(7校)
 - ▼横浜 神奈川県 (6年ぶり17回目)
 - ▼健大高崎高校 群馬県 (3年連続8回目)
 - ▼大会連覇を目指す 浦和実業 埼玉 (春夏通じて初出場)
 - ▼千葉黎明 千葉県 (春夏通じて初出場)
 - ▼山梨学院 山梨県 (4年連続8回目)
 - ▼二松学舎大付属 東京 (2年ぶり8回目)
 - ▼早稲田実業 東京 (8年ぶり22回目)
- 東海地区(3校)
 - ▼大垣日大高 岐阜県 (2年ぶり6回目)
 - ▼常葉大菊川 静岡県 (2年ぶり6回目)
 - ▼至学館 愛知県 (8年ぶり2回目)
- 中国地区(2校)
 - ▼広島商業 広島県 (3年ぶり23回目)
 - ▼米子松蔭 鳥取県 (33年ぶり2回目)
- 四国地区(2校)
 - ▼明德義塾 高知県 (4年ぶり21回目)
 - ▼高松商業 香川県 (2年ぶり29回目)
- 北信越地区(2校)
 - ▼敦賀気比高校 福井県 (5年連続12回目)
 - ▼日本航空石川高校 石川県 (2年連続4回目)
- 近畿地区(6校)
 - ▼東洋大姫路 兵庫県 (3年ぶり9回目)
 - ▼智弁和歌山 和歌山県 (2年ぶり16回目)
 - ▼市立和歌山 和歌山県 (3年ぶり9回目)
 - ▼天理 奈良県 (3年ぶり27回目)
 - ▼滋賀学園 滋賀県 (8年ぶり3回目)
 - ▼滋賀短大付属 滋賀県 (春夏通じて初出場)
- 九州地区(4校)
 - ▼沖繩尚学 沖繩県 (2年ぶり8回目)
 - ▼エナジックススポーツ高等学院 沖縄県 (春夏通じて初出場)
 - ▼柳ヶ浦 大分県 (20年ぶり3回目)
 - ▼西日本短大付属 福岡県 (38年ぶり2回目)

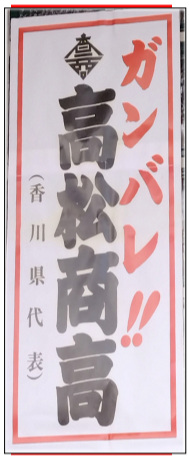


西岡歯科医院
〒760-0062 香川県高松市塩上町3丁目14番17号
☎ 087-831-1987

選考委員会による評価

1月24日、選考委員会が開催され、四国ブロックでは昨秋の四国大会決勝に進んだ2校が順位通りに選出されたようです。高松商は末包旬希、行梅直哉の両右腕を中心に投手陣が充実していること。打線も橘朋宏や唐渡大我らに長打力があり、守りも堅く、総合力は明德義塾と遜色ないという評価が選出されたようです。

2月17日(月)、香川県庁に池田豊人知事を表敬訪問し、今大会での健闘を誓った。池田知事は「野球は人を感動させ、応援する人たちの気持ちを一つにする力がある。ぜひ甲子園で日ごろの力を十分に発揮してください」と激励し、バットなどを贈った。



「21世紀枠」

野球部は女子マネージャーを含む全員が岩崎島出身で、去年秋の長崎県大会では準優勝を果たし九州大会に出場。選考委員会は子どもたちを対象にした野球に関連するイベントも開催して地域に好影響を与えていることなども評価され選出に至る。

▼横浜清陵 神奈川県
▼横濱清陵 神奈川県
去年秋の神奈川県大会では公立高校として唯一ベスト8に進出。

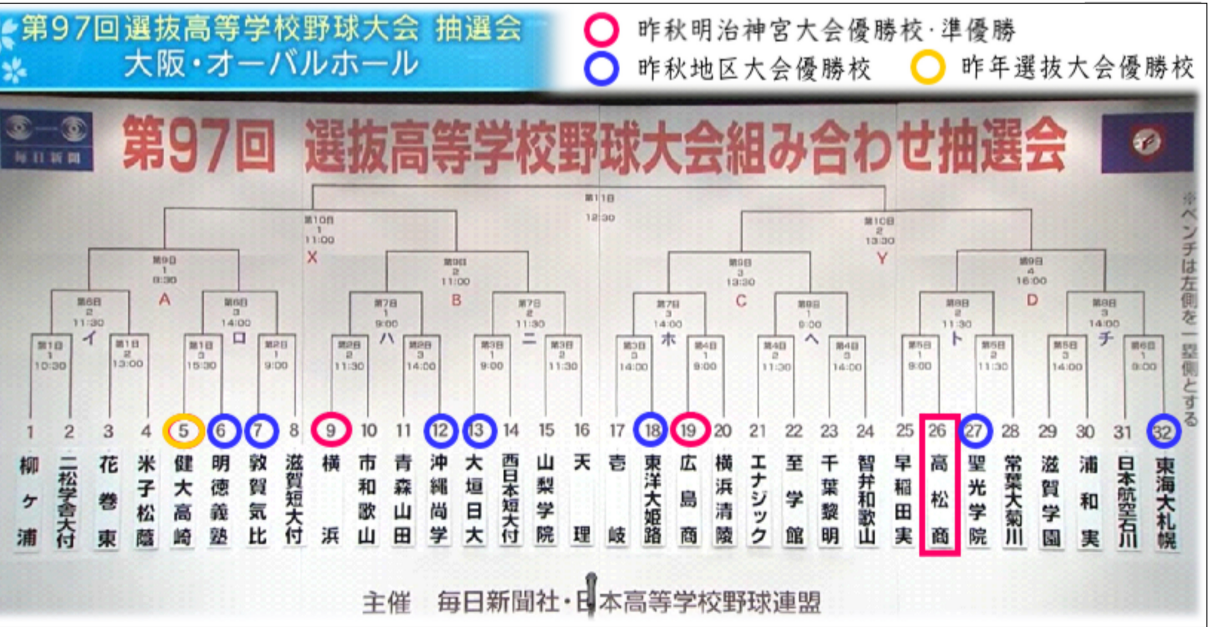
選考委員会は意識を変えて知恵を使えば強豪校がしのぎを削る大都市でも結果を残せるというロールモデルになるのではないかと評価に至る。

今回選出されなかった近畿地区の大阪。実に98年ぶりの出来事となりました。去年秋の府大会で優勝した履正社、府大会準優勝で春夏通算9回の優勝を誇る大阪桐蔭、それに府大会3位の大坂学院大とともに近畿大会で早々に敗れ、選出されなかったようですが、いずれも強豪校に間違いのないようです。

同県で2校選出は、沖縄県があります。個人的に、創部3年目にして出場が決まったエナジックススポーツ高等学院に興味あり。特徴は、「ノーサイン野球」を実践しているらしく、新旋風を巻き起こせるか楽しみです。

そして、最多出場の高松商業は、長尾監督のもと普段着の野球ができるのでしょうか。優勝候補の最筆頭は、去年秋の明治神宮大会で優勝した神奈川の横浜のようです。投打ともに充実しており、今大会も上位にくるでしょう。

また今大会初出場校が多いようです。何か、新しい風が吹きそうです。期待します。



2月25日(火)、2年ぶり29回目の出場をする高松商のセンバツ旗授与式が、高松市の同校グラウンドで行われました。山田圭介主将(2年)が森田真潮・毎日新聞高松支局長から山本主税校長を通じて旗を受け取った。山本校長は「甲子園に選ばれたチーム同士で切磋琢磨し、成長してくれることを期待します」と選手たちを激励。山田主将は「四国、香川県の代表として県民の皆様へ勇気や感動を与えられるよう頑張りたい」と甲子園での活躍を誓った。また長尾監督は「選手たちは練習で培った100%の力を出してほしい」と話した。

3月7日、午前9時より毎日新聞大阪本社オーバルホールで組合せ抽選会が行われ、高松商業は、大会5日目第1試合で対戦相手は早実に決定しました。

大会が進行通りならば22日(土)朝9時からの第一試合になります。県民のみならず、高商ファンのみならず、応援しましょう。